

令和3年度 第3回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和3年9月28日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・永沼 興子
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・北口 博美
 - ・畑 孝子
 - ・加藤 一美
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(社長)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送期間9/16、9/18)
 - (1) 局制作番組
「週末らぢお」
 - (2) 市民制作番組
「虹色カフェ」
 - (3) その他の意見について

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「週末らぢお」

毎週テーマに沿ったトークと週替わりのコーナーでお送りしている。8月から毎月第3土曜日に岩見沢農業等学校の生徒がコーナーを担当している。

① 事前意見回答報告

岡委員長

9月18日（土）の放送について

「3人の楽しい会話。テーマが「噛むが楽しい」だったので、そのような事の掘り下げなのかと思ったが……。市内のニュースは記事の読み方はどうかと思うが関心を持って聴きました。教育大生の歌唱法のホーミー（低温歌唱法）のやり取りが面白かった。また岩農生のコーナーは生徒4人の会話が良く弾み、楽しそうで若者らしかった。」

永沼委員

9月18日（土）の放送について

「コロナで運動会が開催できるか心配された中でしたが、その中で色々工夫して開催した北真小学校の子供達の楽しそうな声が聞けました。道新ニュースは新聞をとっていない人、見逃した人には良いと思いました。特に若い世代は新聞をとっていない人が多いようです。」

仁志委員

9月18日（土）の放送について

「今回の番組、語りが少し？「そうなんですね！！」「エリリンカーサンの」アシストで「楽しく育つ、育てる」番組で、岩見沢農業高校生の出演なども楽しい時間でした。市内の行事「道新」記事を紹介、「アグラジ」など高校生も出番が増える事でお互いが磨かれ、より輝きを増す様子が目に浮かびます。高校生の「生の声」が聴ける番組は嬉しいです

ね！！今後も、出演者＋参加者の年齢を含め大いに「コミュニティー放送」の役割の幅を広げる番組に大いに期待しています。今後も楽しみにしています！！」

木村委員

9月18日（土）の放送について

「番組スタートを聴くことができませんでしたが、空知のニュースの紹介のところから聴くことができました。若者の新聞離れのせいか、紹介している二人のパーソナリティーが地域ニュースを知って驚いていることが新鮮でした。今日のテーマの「ホーミー」と「囃み応え」はどちらもラジオでは伝えにくいものでしたが、とても面白く聴くことができました。「ホーミー」は出来れば放送の中で、モンゴルの歌手の歌が聴くことができれば、もっとリスナーに伝わったことと思います。私も放送後 YouTube の動画を見てトライしてみましたが、全くできませんでした。」

畑委員

9月18日（土）の放送について

「岩農生徒さんコーナーは、岩農ショップが開催できなかったこと、テストや進学、進路のこと、将来の夢など高校生の生活の一部を垣間見る事が出来た時間。若い世代の華やかな声は聞いていて心地良いものだと思います。しんばのいろんな声コーナーは、モンゴル地方にある発声法「ホーミー」を取りあげていました。ユーミンの声と波長が似ているとは初耳でした。倍音といって高音と低音が聞こえるという、また、低音としてはお経の発声法にもあるとの事など、この事をラジオで伝えるのは少々難しかったのではないかと思います。くずもち、ナタデココ、ホルモン、南部せんべい、雑巾絞りなどの言葉が妙に残りました。」

加藤委員

9月18日（土）の放送について

「局制作の番組としては、1時間45分の番組としての構成のまとまりがなく、ところどころで何の番組なのかが分

からなくなる時がありました。CM等、コーナーが変わっているときに「週末らちお」感がなくなり、別番組に感じることがありました。コーナーでモンゴルの倍音発声「ホーミー」についてパーソナリティーの3人で楽しそうに発声の仕方などをおこなっていましたが、少しガヤガヤ感があり聞きづらい感じを受けました。岩見沢農業高等学校の生徒の皆さんの担当のところについては、岩農ショップの中止等もありながらも情報として子供たちの活動や岩農ショップの情報など普段あまり聴けない事を中心にこれからも聴きたいところでした。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。毎週テーマに沿った週替わりコーナーですが、テーマが分かりづらかった。岩農生の番組の進め方が良かったと思います。」

スタッフ松井

「岩農生は農業クラブで発表する機会も多く実力があると思います。この番組はこの他に教育大生二人に参加してもらっています。」

木村委員

「ホーミーを取りあげた視点が面白かった。話のまとまりはもう少しでしたがテーマとしては面白かった。週らちニュースでは教育大生の反応を聴いて、改めて新聞離れを感じました。」

畑委員

「声が似て聞こえて2，3人で話すと分かりづらいと思った。男性が入る等声の違いがあると聴きやすくなると思います。」

スタッフ松井

「まだ番組の進行が慣れていなく、多少ガヤガヤ感がでて

しまう所もあります。」

畑委員

「でも楽しかったですよ。」

岡委員長

「ラジオなのでしゃべりの個性は大事だし、味のあるしゃべり方は引き込まれるものですよね。岩農生の4人は人数が多くても聴きやすかったので個性が出ると良いと思います。」

木村委員

「番組の最初の部分が聴けなかったので誰がやっているのか分からなかった。途中で聴いてもわかるように番組表で番組内容を紹介して貰えると良いと思います。」

岡委員長

「番組の途中で番組内容と違う情報が入っていますよね。」

加藤委員

「ジングルを作って入れるとか、途中途中に番組パーソナリティーの自己紹介情報があっても良いのではないのでしょうか。」

岡委員長

「違う情報が流れると番組が切れ切れになって分かりづらいのでは。」

木村委員

「番組のコンセプトを番組表に載せて欲しい。」

加藤委員

「民放でも長い生放送でもジングル、その日のテーマ、パーソナリティーはCM明けに流しているので取り入れてみても良いのではないのでしょうか。」

北口委員

「やっぱり番組表の内容をもっと充実させて欲しい。難しいのであればHPの方で充実させると良いと思います。」

木村委員

「番組表にQRコードを付けてみても良いのではないのでしょうか。」

スタッフ松井

「検討します。」

岡委員長

「では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「虹色カフェ」 (担当三浦さん)

様々な方の持ち味を生かして笑顔の輪を広げていく、心と身体の癒しのツールになる情報番組。パーソナリティーが週替わりで放送を担当。

① 事前意見回答報告

岡委員長

9月16日(木)の放送について

「曲はいい感じで聴きました。講演会の予定、防災講演の話があっても良いと思いました。」

永沼委員

9月16日(木)の放送について

「命を守る大切さを伝える三浦ひろしさんは、紙芝居を通して防災の話をしているそうですが、番組の中でも紙芝居の一部でも話して欲しかった。伊藤カリンさんの歌声、とても癒されました。」

仁志委員

9月16日（木）の放送について

「今回の放送は、三浦ヒロシ「ヒロさん」でした。独特の話し方が少し耳に馴染むまで少し時間が必要でしたが、お話の話題間口の「広さと深さ」に引き込まれていました。交友関係も広く楽しい時間でした。選曲ジャンルのセンスもホボ同年代かと思いますが落ち着いた深く馴染める楽しい時間でした。今後も番組を聴きたいと思いました。今後の予定にありました活動で、講演会にも「防災士」としても興味を持ちました。次回も楽しみにしています。」

加藤委員

9月16日（木）の放送について

「今回の番組内容としては、三浦さんが札幌市在住のカリンとの出会いや紹介で終始し、三浦さんやカリンさんの知り合いであれば楽しく聴けるのかもしれませんが、内容が偏ると、よくわからない人らすると特に面白いや勉強になるなど、本番組のコンセプトがどこにあるのかがよくわかりませんでした。いつもの、災害についての減災の考え方などの内容の時には参考になっています。いつもの、災害についての減災の考え方などの内容の時には参考になっています。」

② 審議

スタッフ松井

「パーソナリティー4名の内のお一人で、3年ほど担当しています。元消防士で防災士の方ですが、普段は防災の話がメインなのですが、今回はいつもの放送パターンと違いました。」

仁志委員

「以前の番組でも津波の体験を話しているので、今回はいつもと違うパターンなんだなと思いました。」

岡委員長

「防災士なので高校に出向いて講演を行っているようですが、今回は防災の話がなかった。でもかかった曲は良い曲だと思いました。」

北口委員

「曲がかかる時の間が気になりました。一人で担当している番組は多いのですか。」

スタッフ松井

「割合としては少ないです。」

永沼委員

「自分から放送をやりたいと言ったのですか。」

スタッフ松井

「ゲスト出演から始まり、防災の観点から担当してもらいました。」

岡委員長

「毎回聴いていると、いつもと違うパターンもあるのは理解できます。地元の方が参加するのは良いと思います。」

仁志委員

「話のテンポに特徴がありますが、個性と考えれば良いと思います。素人っぽいのが良いのかもしれませんが。」

岡委員長

「コミュニティーFMの良さだと思います。では次に進みます。」

(3) 「その他の意見」について

① 事前意見回答報告

北口委員

「緊急事態宣言中で、番組作りにも気を遣う事が多いかと思いますが、今後もまちの明るい話題の情報発信や様々なゲストを発掘してトークするなど、ラジオから岩見沢のまちを盛り上げて行ってほしいと思います。」

② 審議

北口委員

「埋もれている色々な方をゲストに呼んで欲しいです。」

加藤委員

「そこが知りたいはどれぐらいのペースで作っているのですか。」

スタッフ松井

「2週に1回ぐらいで、金生ナイト倶楽部のゲストインコーナーを編集して作っています。」

木村委員

「ゲストの紹介は協力出来ると思います。」

加藤委員

「リレー形式でゲストを紹介して貰うとかもありますよね。」

畑委員

「お悔やみ情報が平日の昼から夕方まで放送が無いのはどうしてですか？あった方が良いのではないのでしょうか。」

スタッフ松井

「情報の更新時間の都合で編成していませんが検討します。」

岡委員長

「地域のコミュニティーFMの個性を生かしながら改善して行ってほしいと思います。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「スクランブルニュース」

取材した地元のニュースを増やしていきたい。

(2) 市民制作番組

「ステージの合間に」

番組構成の工夫をお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和3年10月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。